

メルコエアテクノロジー

2504876H49602

コンパックパワーファン

取扱説明書（据付工事説明書付）

形名

PE-K30HA2 3相 200V 50/60Hz（高所取付専用）

■この製品は3相製品です。

お客様へ

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書（据付工事説明書付）」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」は、大切に保管してください。
- お客様ご自身での工事は故障や事故の原因になります。
- お客様ご自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店・工事店様から説明を受けてください。

工事店様へ

- 据付工事を始める前に必ずこの取扱説明書（据付工事説明書付）をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様から実施してください。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
- この取扱説明書に従って正しい使い方をお客様へ説明してください。

据付工事終了後は、必ずお客様にこの説明書をお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

お客様へ

工事店様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	警告		注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの		禁止
	分解禁止		接触禁止
	ぬれ手禁止		ぬれ手禁止
	水ぬれ禁止		浴室取付禁止
	指示に従う		アース線を必ず接続せよ

お客様へ

警告

	接触禁止	電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は、製品には絶対にふれない 突然運転し始めてけがの原因
	分解禁止	運転中は危険ですから可動部（羽根）には指や物を入れない 故障・けがの原因
	ぬれ手禁止	どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない 火災・感電・けがの原因 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください
	ぬれ手禁止	ぬれた手で操作をしない 感電やけがの原因
	水ぬれ禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因
	指示に従う	振動が大きい、羽根が回らないなどの異常時には使用を中止する 落下・焼損の原因
	指示に従う	お手入れや修理を依頼される際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う。また、ぬれた手で操作をしない 通電していると感電・けがの原因

工事店様へ

警告

	禁止	定格電圧・定格周波数以外では使用しない 火災や感電の原因
	水ぬれ禁止	爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない 爆発や火災の原因
	分解禁止	電圧調整による回転制御はしない モータ焼損の原因
	分解禁止	塩素消毒しているプール、酸・アルカリや腐食性ガスを含んだ湿気の高い場所に据付けない 腐食して落下しけがの原因
	水ぬれ禁止	雨・水のおたる場所には据付けない ショート・感電の原因
	分解禁止	どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない 火災・感電・けがの原因 修理は当社のお問い合わせ窓口にご相談ください
	指示に従う	高さ1.8m以上の容易に触れることができない場所に据付ける けがの原因
	指示に従う	製品1台ごとにモータブレーカ1個を取付ける モータ焼損の原因
	指示に従う	漏電ブレーカを確実に取付ける 漏電のときに感電の原因
	指示に従う	お手入れや修理を依頼される際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う。また、ぬれた手で操作をしない 通電していると感電・けがの原因
	指示に従う	アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 漏電のとき感電の原因

お客様へ

注意

	禁止	運転中に布や紙を巻き込むおそれのあるところでは使用しない 火災の原因
	禁止	1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない 部品の破損、落下によるけがや感電の原因
	禁止	本体に異常な振動が発生した場合使用しない 本体や部品の落下によるけがの原因
	禁止	傾斜・不安定な場所では使用しない 転倒してけがの原因
	禁止	衝撃を与えない 感電や火災の原因
	指示に従う	長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因
	指示に従う	各部品の取付けは確実に行う 部品がはずれたり、落下によりけがの原因
	指示に従う	据付けやお手入れの際は手袋を着用する 端面などでけがの原因

工事店様へ

注意

	禁止	直接炎があたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因
	指示に従う	本体の据付工事は、振動のない十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因
	指示に従う	羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をする 振動により部品が破損して落下しけがの原因
	指示に従う	電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない。 電源電線の結線部分は安全上、JIS C 8340の「電線管用金属ボックス」内にて行う。又、電源コードの結線部分には雨・水がかからないように電気工事を行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因
	指示に従う	開梱・据付け・保守点検及びお手入れの際は手袋を着用する 端面などでけがの原因
	浴室取付禁止	浴室など湿気の高い場所（温室・ビニールハウス・雨のかかるところなど）では絶対に使用しない 感電や火災の原因

2.据付け前のお願い

工事店様へ

■製品が容易にメンテナンスができる場所に据付け、また製品の寿命や万が一の故障により、二次的被害が想定される場所には必ずフェールセーフ設計の配慮をしてください。

■据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けしないでください。

- ・可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれのある場所
- ・雨・水がかかるおそれのある場所
- ・使用可能温度・湿度範囲を超える場所（「11.仕様」を参照）
- ・浴室、温室、ビニールハウスなど湿度の高い場所
- ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- ・冷凍室など氷結するおそれのある場所
- ・綿ぼこりや砂ぼこりが多い場所

- ・塩害、温泉害の発生している場所
- ・酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
- ・製品の周囲に障害物のある場所
- ・有機溶剤を使用している場所
- ・厨房等で油煙・蒸気が直接製品にかかる場所

- 本体の据付けは、製品の質量に十分耐えられる場所を選んでください。
落下によりけがをするおそれがあります。

■ダクトなどに接続しないでください。

■軸垂直羽根下据付時は、高圧水洗浄はできません。

3.各部のなまえと外形寸法図

工事店様へ

8×φ9本体取付穴
回転方向
45°
45°
φ420/φ390
ガード
羽根
ビニルキャブタイヤケーブル
3芯×0.75mm² 有効長1.0m
単位(mm)

〈取付金具取付状態〉
単位(mm)
444
391
取付金具A
取付金具B
矢視ア部(取付金具詳細)
100
50
2×φ9取付穴
単位(mm)

付属部品

- 取付金具A……2個
- M8ボルト……4本
- M8ナット……4個
- M5ボルト……2本
- 取付金具B……2個
- M10ボルト……2本
- 戻り止めM10ナット……2個
- ばね座金………4枚

4.据付方法

工事店様へ

壁据付

チェーンつり下げ据付

丸パイプ等への据付

警告

- 下記方法での据付けはできません（本体や部品の落下によるけがの原因）。

1

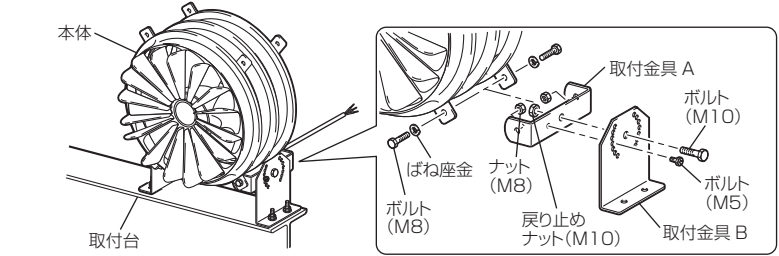
4.据付方法 つづき

工事店様へ

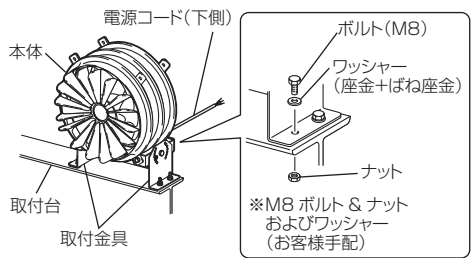
注意

- 本体の固定は、十分強度のある場所にお客様手配のボルト（天つり・埋込ボルト）、ナット、ワッシャー（座金+ばね座金）を使用し据付けてください。
- 軸垂直羽根上での使用はできません。
- 軸水平取付時は、必ず電源コードが下側になるように据付けてください。
故障の原因
- 本体取付穴を4か所使用して確実に据付ける。
本体や部品の落下によるけがの原因
- 取付面は、取付金具Bの設置面を全面にて支える寸法を確保してください。
本体や部品の落下によるけがの原因

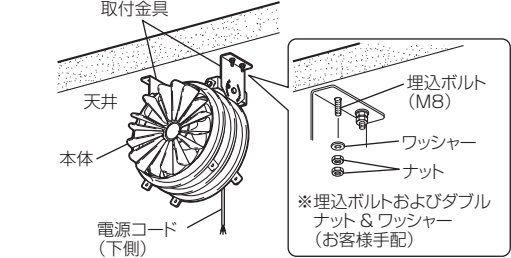
取付金具の取付け



上取付例



つり下げ取付例



注意

- ボルト（天つり・埋込みボルト）、ナット、ワッシャーは必ず指定のものを
落下によるけがの原因

お願い

- 吸込側は250mm以上（天つり取付の場合は250～300mm）の空間を必ず設けてください。
送風性能が十分発揮されません。
- 取付面は歪みのない同一平面内にて行ってください。
- つりボルトは耐震など必要に応じ、振れ止め用耐震支持部材にて補強を行ってください。

角度調整のしかた

注意

- 角度調整の際には、中央のボルト・戻り止めナットははずさない
落下によるけがの原因

本体角度は同梱の取付金具を用いることで、俯角45°～仰角45°まで7段階の調整が可能です。（俯角45°、仰角45°で取付けた場合、取付状況によっては、本体が取付面に当たり固定できないことがあります。）

1. 本体取付け後、角度を調節する場合は、M5ボルト（2か所）ははずしてから、中心ボルト（2か所）を緩める。
2. お好みの角度に調整後、M5ボルトを締め付けてから中心ボルトを締め付ける。

5.電気工事

工事店様へ

- 電気設備基準に基づき、電気工事士によるD種接地工事（アース）を行うとともに、漏電ブレーカを必ず設置する。
- モータ過負荷保護のため、モータブレーカまたは過負荷保護装置を必ず機器1台ごとに取り付けてください。過負荷保護装置の選定は、仕様の欄の電流の1.2倍程度を目安にしてください。
- インバータ等速調器は使用できません。
インバータ等速調器で運転すると振動が大きくなり破損や回転不良のおそれがあります。

6.試運転

工事店様へ

■電気工事終了後、正常に運転できるか使用者立会のもと試運転を行ってください。

据付工事終了後、次のことを確認します

1. 製品は確実に据付けてありますか
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか
3. 正しくアース工事がしてありますか
4. 欠相になっていませんか
5. 電源電圧は正しいですか

ブレーカを「入」にして試運転を行う

6. 異常な振動や騒音はありませんか
7. 回転方向が逆ではありませんか
（回転方向を修正する場合は、3本の電源のうち2本を入れ換える）

7.使用方法

お客様へ

運転する……

ブレーカを「入」にする

停止する……

ブレーカを「切」にする

警告

- 運転中は危険ですから製品の中に指や物を入れない
けがの原因
- ぬれた手で操作しない
感電やけがの原因

8.点検・お手入れ

お客様へ

工事店様へ

お手入れ

（お客様へ）分解清掃が必要な場合は必ず専門業者に依頼してください（故障・けがの原因）。

- 羽根・モータにほこりが多量に付着しますと異常音・振動・モータの過熱の原因になります。
- また、油、粉じんなどの可燃性の汚れが製品に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。
- 定期的（1年目安）に清掃してください。

お手入れの際は……●元電源を切ってから行ってください。

- 板金部分などの切口により手を切る場合がありますので厚手の手袋を着用してください。

- 汚れが目立ってききましたら3か月に1度を目安に清掃を行ってください。

- ガードは目詰りがないようにしてください。
- モータ部のほこりは掃除機で吸い取ってください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等のけんま剤入りの洗剤（変質・変色する原因になります）
- 高圧水洗浄時は洗浄ノズルを拡散にし、50cm以上離して洗浄してください。直射や近距離からの洗浄は羽根変形など製品破損の原因となるおそれがあります。高圧水洗浄機の取扱説明書に従って、正しく使用してください。

保管のしかた

必ず電源を切り、製品への水やほこりの侵入がないようにビニールシートなどで覆ってください。

長い間ご使用の製品は、使用上支障がなくとも、安全のための診断をお願いします。

清掃の際、下記の点検を行い、処置を販売店に依頼してください。

3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行う。

点 検 項 目		処 置
さ び	●製品および製品据付用ナット・ボルトがさびていませんか ●羽根および羽根取付用のナットがさびていませんか	●さびが部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください（部品落下および羽根破損/落下によるけがのおそれがあります）
ガタつき	●製品を据付けたナット・ボルト等が確実に取付けてありますか ●羽根やモータは確実に止められていますか	●ガタつきがないようにナット・ボルト等を確実に取付けてください（製品落下および羽根落下によるけがのおそれがあります）
損 傷	●モータの外観が変色していませんか ●電源コードにキズなどありませんか ●羽根に亀裂などありませんか	●モータを交換してください ●モータを交換してください ●羽根を交換してください（羽根破損/落下によるけがのおそれがあります）
ほ こ り	●モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか ●ガードは目詰まりしていませんか	●清掃してください

1年に1回程度

異 常 音	●ボールベアリングの寿命は約1万時間ですので使用状況によっては、点検のうえ交換が必要です
さ び	●さびが部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください
コ ー ド	●コードにヒビ割れ等がある場合には、モータを交換してください

9.修理を依頼する前に

お客様へ

長い間ご使用の製品は、使用上支障がなくとも、安全のための診断をお願いします。

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事店に点検をご依頼ください。また、修理については、当社のお問い合わせ窓口（添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」参照）へご相談ください。

現 象	点 検 と 処 置	点検実施者	
		工事店様	お客様
通电しても回転しない	●電源プラグが抜けていませんか（差し込む）	○	
	●電源の接続は正しいですか（正しく接続する）	○	
	●元電源が切れていませんか（入にする）		○
	●温度過昇防止装置が作動していませんか （電源を切って原因を取り除き、モータが冷えてから再運転する）	○	
運転中に異常音や振動がする	●羽根の締め付けがゆるんでいませんか（締め付け直す）	○	
	●本体が「4.据付方法」に従って確実に据付けられていますか（据付け直す）	○	
	●軸受部から音がしていませんか（ボールベアリングを交換する）	○	
	●全面にさびが発生していませんか（さびの発生した部品を交換する）	○	
焦げ臭いにおいがする	●羽根が軽く回りますか（羽根に何か引っ掛かっている場合は取り除く）	○	
	●ほこりがたまっていますか（清掃する）		○
	●異常に湿度が高い場所で使用していませんか （取付場所およびモータ内部の腐食確認後モータを交換する）	○	

温度過昇防止装置について

モータには温度の上がり過ぎを防止するため温度過昇防止装置（自己復帰形サーマルプロテクター）を内蔵しています。過負荷、欠相運転あるいは拘束運転などの異常時に下記のように作動しますので処置をしてください。

作 動………回転が一時的に遅くなって停止します。しばらくすると回転します。停止と回転を繰り返します。

処 置………ブレーカを切り、原因を取り除いてモータが冷えてから再運転してください。
それでも停止するときはブレーカを切り専門の業者へ修理依頼してください。

10.アフターサービス

お客様へ

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。

なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」参照）へご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこのコンパックパワーファンの補修用性能部品を製造打ち切り後9年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

11.仕 様

お客様へ

工事店様へ

形 名	PE-K30HA2
羽 根 径(cm)	30
電 源	3相 200V 50/60Hz
使用可能温度・湿度範囲	－10℃～+50℃(80%以下)
公 称 出 力(W)	250
風 速(m/min)	825/935
風 量(m³/min)	125/140
電 流(A)	1.46/1.68
本 体 質 量(kg)	8.5
温度過昇防止装置	自己復帰形サーマルプロテクター

※風速、風量値は風車形風速計にて測定した値です。

製造販売元

メルコエアテクノロジー株式会社

技術指導元

三菱電機株式会社

この説明書は、再生紙を使用しています。